

2023年7月10日

ロイヤルカナン ジャパン

**ロイヤルカナン ジャパン、「ベテリナリーシンポジウム 2023」を今年も開催し、
獣医療業界のサステナブルな発展を支援
ロジックで攻める「消化器疾患クリニカルアップデート」をテーマに会場とオンラインの同時開催**

栄養学に基づいて犬と猫の健康を実現する企業(Health Through Nutrition Company)として、プレミアムペットフードおよび食事療法食を展開するロイヤルカナン ジャパン(本社:東京都港区、社長:山本 俊之)は、獣医療関係者を対象としたシンポジウム「ベテリナリーシンポジウム 2023」を、7月30日(日)に The Okura Tokyo(東京都港区)、8月6日(日)にヒルトン大阪(大阪府大阪市)で開催します。なお東京会場の模様は、特設サイトにてオンラインでも同時に配信されます。



ロイヤルカナン ベテリナリーシンポジウム 2023

ロジックで攻める

「消化器疾患クリニカルアップデート」

ベテリナリーシンポジウムは、ロイヤルカナン ジャパンが獣医療業界のサステナブルな発展支援を目的に、全国の獣医療関係者を対象に毎年開催しているシンポジウムです。今回は、**ロジックで攻める「消化器疾患クリニカルアップデート」**をテーマに、石田卓夫先生(赤坂動物病院医療ディレクター)による「子犬と子猫の下痢症」をはじめ、中島亘先生(公益財団法人 日本小動物医療センター附属 小動物消化器センター)による「どうする?腸疾患に対する食事療法などの治療選択」、大森啓太郎先生(東京農工大学大学院 動物生命科学部門)による「腸内環境を標的とした消化器疾患の管理」と、獣医療のエキスパートによる講演を各会場とオンライン配信のどちらからも聴講いただけます。

さらにシンポジウム特設サイトでは、7月10日(月)~8月20日(日)の期間中、消化器疾患と腸内細菌叢の関連、消化器疾患に対する体系的な診断アプローチに関する情報が満載の事前学習動画を公開しており、講演内容の理解を深めていただくための予習・復習にご活用いただけます。その他にも下痢と便秘に関する e ラーニングや QUIZ ムービー、フランス本社においてロイヤルカナンのフードがどのようにつくられているかを紹介するキャンパスバーチャルツアーに加え、愛玩動物看護師の方向けに栄養学からマネジメントまで動物看護力を高め長く働いていただくためのレクチャー動画を、上記期間中いつでもご覧いただけます。

ロイヤルカナンは、個々の栄養ニーズをきめ細やかに満たすことで、一頭一頭の犬と猫に、目に見える・実感できる“真の健康”を提供することにより、A BETTER WORLD FOR PETS™(ペットのためのより良い世界)の実現を目指しています。そのために、獣医療関係者を対象とした本ベテリナリーシンポジウム開催のほか、獣医学生のキャリア形成を支援する「キャリアユニバーシティ」の実施や、若手獣医師の生涯教育サポートを行う「Royal Canin Academy」の開講など包括的な取り組みを通じて、これからも日本の獣医療のサステナブルな発展と未来に寄与して参ります。

■開催概要

名 称 : ベテリナリーシンポジウム2023

テ ー マ : ロジックで攻める「消化器疾患クリニカルアップデート」

会場：【東京会場】The Okura Tokyo 平安の間(東京都港区虎ノ門2-10-4 プレステージタワー1階)
【大阪会場】ヒルトン大阪 桜の間(大阪府大阪市北区梅田1-8-8-5階)
【オンライン配信】シンポジウム特設サイト(<https://rc-symposium.jp/2023sp/lp/>)

開催日程：【東京会場】2023年7月30日(日) 18:00～21:30 ※開場 17:30
【大阪会場】2023年8月6日(日) 18:00～21:30 ※開場 17:30
【特設サイト】2023年7月10日(月)～8月20日(日)

対象：獣医療関係者
参加費：無料
受講方法：会場、オンライン配信ともに特設サイトでの事前登録制
定員：【東京会場】先着400名様 【大阪会場】先着300名様
主催：ロイヤルカナン ジャポン合同会社
お問い合わせ：ロイヤルカナン ペテリナリーシンポジウム事務局(eメール:rc_symposium@plan-sms.co.jp)

■講演詳細

< 講演 > 会場・オンライン



石田 卓夫 先生

D.V.M., Ph.D.

赤坂動物病院医療ディレクター

子犬と子猫の下痢症

子犬、子猫では、下痢に伴い低血糖、脱水や栄養不良、体重減少も起こりやすく、対症療法、食事管理に加え、正しい原因治療が重要となる。急性例では食事、感染症、寄生虫、ストレス、慢性例では食物不耐、アレルギー、IBD、寄生虫、細菌過剰増殖、膵外分泌不全などが原因としてあげられる。



中島 亘 先生

D.V.M.

公益財団法人
日本小動物医療センター 附属
小動物消化器センター

どうする？腸疾患に対する食事療法などの治療選択

慢性腸疾患に対して自分が処方した療法食が奏効しない時、次の治療の選択肢を迷う獣医師は多いと思います。今回の講演では、初期治療が奏効しなかった場合の、第2、第3、第4の治療や検査の選択肢を、実際の症例情報を交えてご紹介したいと思います。



大森 啓太郎 先生

D.V.M., Ph.D.

DAIICVIM (Internal Medicine)

東京農工大学大学院
動物生命科学部門

腸内環境を標的とした消化器疾患の管理

ディスバイオーシスをはじめとする腸内環境の異常は、犬と猫の消化器疾患と密接に関連しています。腸内環境を改善する方法として、食事の管理やプレ/プロバイオティクスの投与などが重要になってきます。しかしながら、これらの方法は、犬と猫の消化器疾患に対してどれほどの効果があるのでしょうか？本講演では、犬と猫の消化器疾患に対する腸内環境を標的とした治療法について、具体例を交えながら解説していきます。

< 事前学習動画 > オンライン



大森 啓太郎 先生

D.V.M., Ph.D.

DAIICVIM (Internal Medicine)

東京農工大学大学院
動物生命科学部門

犬と猫の消化器疾患とディスバイオーシス

消化管内には、約1000種類、100兆個以上もの腸内細菌叢が生息し、生体の恒常性維持に重要な役割を果たしています。近年、腸内細菌叢の異常であるディスバイオーシスが、ヒトと動物のさまざまな疾患の発症と関連していることが明らかになってきています。そこで本講演では、生体と腸内細菌叢との共生、そして犬と猫の消化器疾患の発症におけるディスバイオーシスの役割について分かりやすく解説します。



酒居 幸生 先生

D.V.M., Ph.D.

大阪公立大学 獣医学研究科
小動物臨床医学教室

犬の下痢に対する系統的アプローチと食事療法の考え方

下痢の原因は非常に多岐にわたります。また、その治療として食事療法を行う機会が多いですが、各症例の病態に合わせた食事の使い分けが必要であり少々煩雑です。そこで本講演では、下痢に対するアプローチと食事療法を系統立てて解説します。

ロイヤルカナン社について

ロイヤルカナン社は、50年以上にわたり、犬と猫に真の健康を提供することに尽力しています。1968年、フランス人獣医師ジャン・カタリーにより創設されて以来、獣医師、ブリーダーなど世界中の犬と猫の専門家との連携を通して栄養学と知識の限界を押し広げることで、A BETTER WORLD FOR PETS™（ペットのためのより良い世界）の実現を目指しています。常に犬と猫の栄養ニーズをイノベーションプロセスの中心に置いて、犬や猫の品種、年齢、身体のサイズ、ライフスタイル、感受性、活動レベルを科学と観察を通じて研究し、それぞれの犬や猫に最適な栄養バランスのフードを開発しています。ロイヤルカナンは、責任ある原材料調達、CO2排出量および廃棄物の削減、持続可能なパッケージ資材の使用という観点から、サステナビリティへの取り組みを推進しています。世界100カ所以上の市場で事業展開しているロイヤルカナンの従業員は約8,000名。そのうち、約500名が獣医師または栄養学の専門家です。世界16カ所の工場、2カ所のペットセンターを運営しています。ロイヤルカナンの栄養学に基づいたフード製品は、世界中の動物病院、ペット専門店または公式通販サイトを通して販売されています。日本をはじめ、ヨーロッパ地域以外では、ロイヤルカナン社はユーカヌバ製品を展開しています。ユーカヌバは愛犬の健康とアクティブな毎日をサポートするフードブランドです。

ロイヤルカナンに関する詳細: <https://www.royalcanin.com/jp/>

ユーカヌバに関する詳細: <https://www.eukanuba.com/jp/>

ロイヤルカナン ジャパン企業サイト: <https://royalcanin.jp/>